

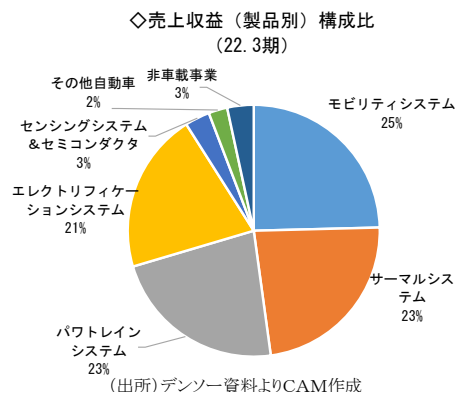
企業ニュース デンソー

(東証プライム : 6902) [https:// www.denso.com/jp/ja/](https://www.denso.com/jp/ja/)

作成者: 奥村義弘

自動車の電動化時代をリードする

1949年設立。パワトレイン、熱機器、電子、情報通信機器など幅広い製品分野を展開する自動車部品メーカー。xEV（電動車両）やADAS（高度運転支援システム）の普及で、インバーター、バッテリーECU（電子制御装置）、モジュールジェネレーターなど電動パワトレインの基幹部品への成長期待が高い。他にもバッテリー監視モニターや空調ヒートポンプなど多くのxEV関連技術を有する。22.3期の得意先別売上収益構成比はトヨタグループ51.4%、トヨタグループ外（OEM）37.0%、市販・非車載事業他11.6%。長期戦略の成長目標として26.3期に売上収益7兆円、営業利益率10%を掲げる。



電動化やADASの進展で中長期の成長期待は高い

22.3期の連結業績は売上収益が5兆5,155億円、前期比12%増、営業利益が3,412億円、同120%増。1株当たり年間配当金は165円と従来予想比5円上方修正した。半導体不足などによる車両減産の影響、部材費や物流費の上昇影響などがあったが、新型コロナ影響からの回復による操業度の改善、為替の円安推移、固定費低減・合理化努力などにより増収・増益となった。製品別にはADAS車向け圧力センサ、日・北米・中国でのインバーター販売などが増加した。

23.3期通期の会社計画は売上収益が6兆3,500億円、前期比15%増、営業利益が5,600億円、同64%増。1株当たり年間配当金は180円と前期比15円の増配。外部環境の悪化として半導体不足の長期化、素材費・エネルギー費・労務費の高騰などを見込む。これに対し、合理化・対応力強化で+2,600億円を見込む。うち価格転嫁（値引き抑制や材料スライドを含む）や一段の原価低減で+1,500億円を計画する。国内車両生産の前提は942万台、同29%増、海外日系車生産は2,156万台、同25%増。会社側では車両減産リスクで900億円の利益面でのマイナスを織り込む。為替前提は1ドル=115円、1ユーロ=130円。

[株価動向・投資判断]

短期的には自動車の生産回復の動きを注視したい。同社は投資が一巡し回収期にあること、電動化やADAS進展によるビジネス拡大が期待できポジティブに評価できよう。

<6902 デンソー 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
21.3	4,936,725 (▲4)	155,107 (154)	193,753 (116)	125,055 (84)	161.4	140.00
22.3	5,515,512 (12)	341,179 (120)	384,808 (99)	263,901 (111)	342.8	165.00
23.3 予	6,350,000 (15)	560,000 (64)	603,000 (57)	434,000 (64)	568.6	180.00



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価 (2022/5/6)	7,784 円
年初来高値 (高値日)	10,185 円 (22/1/6)
同 安値 (安値日)	6,584 円 (22/3/8)
予想 P E R (23.3 予)	13.7 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	5,632.4 円
P B R	1.38 倍
予想配当利回り	2.31 %
(1株当たり配当金年180.00円)	
R O E (22.3)	6.4 %
発行済み株式数	78,794 万株